

(案)

報告書 NO. 20

# 予防接種後副反応報告書

## 集計報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会  
厚生労働省健康局健康課



## 予防接種後に生じた副反応疑いの報告について

予防接種後に生じた副反応疑いの報告は、予防接種法第12条第1項の規定に基づき、医師等が予防接種を受けた者が一定の症状を呈していることを知った場合に、厚生労働省に報告しなければならないとされている。

当該報告制度は、予防接種後に生じる種々の身体的反応や副反応について情報を収集し、ワクチンの安全性について管理・検討を行い、以て広く国民に情報を提供すること及び今後の予防接種行政の推進に資することを目的としている。

これまで、平成6年の予防接種法改正に伴い、「定期（一類疾病）の予防接種実施要領」（平成17年1月27日健発第0127005号厚生労働省健康局長通知別紙）及び「インフルエンザ予防接種実施要領」（平成17年6月16日健発第0616002号厚生労働省健康局長通知別紙）に基づき実施されてきたものが、平成25年の予防接種法の改正に伴い、法律に位置づけられたものである。

本集計報告書は、厚生労働省に報告された内容について、報告基準にある臨床症状ごとに単純集計し、まとめたものである。

当該報告制度の留意点は以下のとおりである。

(1) 本報告は、予防接種法に基づく定期接種として実施された予防接種を対象としており、いわゆる任意の予防接種は報告・集計の対象とはなっていない。

(2) 各都道府県の接種対象者人口などを考慮しても報告数に県ごとのばらつきが大きく、副反応数の発生率などについてはこのデータからは分析できない。

ワクチン別の副反応疑いの発生頻度については本報告ではなく、平成8年度より実施している予防接種後健康状況調査事業の報告書や、厚生科学審議会の副反応検討部会、薬事・食品衛生審議会の安全対策調査会の合同会議で公表している各ワクチンの副反応報告状況を参照していただきたい。

(3) 本報告は、接種と症状との因果関係の有無に関わらず、接種後に健康状況の変化をきたした症例を集計したものであり、予防接種との関連性が考えられない偶発事象等も含まれている。

(4) 本報告は、予防接種健康被害救済制度と直接結びつくものではない。救済措置の給付を申請する場合には、別途、各市町村でまとめた書類の提出が必要である。



# 目 次

平成25年度予防接種後副反応報告書集計報告	1
予防接種後副反応報告書（様式・基準）	9
 第1表 都道府県別・ワクチン別	1 1
第2-1表 DPT・DT (日数別)	1 2
第2-2表 DPT・DT (年齢別(男女別))	1 2
第2-3表 DPT・DT (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	1 3
 第3-1表 DPT-IPV (日数別)	1 4
第3-2表 DPT-IPV (年齢別(男女別))	1 4
第3-3表 DPT-IPV (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	1 5
 第4-1表 不活化ポリオ (日数別)	1 6
第4-2表 不活化ポリオ (年齢別(男女別))	1 6
第4-3表 不活化ポリオ (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	1 7
 第5-1表 麻しん (日数別)	1 8
第5-2表 麻しん (年齢別(男女別))	1 8
第5-3表 麻しん (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	1 9
 第6-1表 風しん (日数別)	2 0
第6-2表 風しん (年齢別(男女別))	2 0
第6-3表 風しん (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	2 1
 第7-1表 M R (日数別)	2 2
第7-2表 M R (年齢別(男女別))	2 2
第7-3表 M R (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	2 3
 第8-1表 日本脳炎 (日数別)	2 4
第8-2表 日本脳炎 (年齢別(男女別))	2 4
第8-3表 日本脳炎 (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	2 5
 第9-1表 B C G (日数別)	2 6
第9-2表 B C G (年齢別(男女別))	2 6
第9-3表 B C G (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	2 7
 第10-1表 H i b (日数別)	2 8
第10-2表 H i b (年齢別(男女別))	2 8
第10-3表 H i b (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	2 9
 第11-1表 P C V (日数別)	3 0
第11-2表 P C V (年齢別(男女別))	3 0
第11-3表 P C V (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	3 1
 第12-1表 H P V (日数別)	3 2
第12-2表 H P V (年齢別(男女別))	3 2
第12-3表 H P V (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	3 3
 第13-1表 インフルエンザ (日数別)	3 4
第13-2表 インフルエンザ (年齢別(男女別))	3 4
第13-3表 インフルエンザ (症状の転帰別(重篤・非重篤別))	3 5



第1表	都道府県別・ワクチン別	38
第2～1表	DPT・DT (日数別)	39
第2～2表	DPT・DT (年齢別(男女別))	40
第2～3表	DPT・DT (予後別(回復している・回復していない別))	41
第3～1表	DPT-IPV (日数別)	42
第3～2表	DPT-IPV (年齢別(男女別))	43
第3～3表	DPT-IPV (予後別(回復している・回復していない別))	44
第4～1表	不活化ポリオ (日数別)	45
第4～2表	不活化ポリオ (年齢別(男女別))	46
第4～3表	不活化ポリオ (予後別(回復している・回復していない別))	47
第5～1表	麻しん (日数別)	48
第5～2表	麻しん (年齢別(男女別))	49
第5～3表	麻しん (予後別(回復している・回復していない別))	50
第6～1表	風しん (日数別)	51
第6～2表	風しん (年齢別(男女別))	52
第6～3表	風しん (予後別(回復している・回復していない別))	53
第7～1表	M R (日数別)	54
第7～2表	M R (年齢別(男女別))	55
第7～3表	M R (予後別(回復している・回復していない別))	56
第8～1表	日本脳炎 (日数別)	57
第8～2表	日本脳炎 (年齢別(男女別))	58
第8～3表	日本脳炎 (予後別(回復している・回復していない別))	59
第9～1表	ポリオ (日数別)	60
第9～2表	ポリオ (年齢別(男女別))	61
第9～3表	ポリオ (予後別(回復している・回復していない別))	62
第10～1表	B C G (日数別)	63
第10～2表	B C G (年齢別(男女別))	64
第10～3表	B C G (予後別(回復している・回復していない別))	65
第11～1表	インフルエンザ (日数別)	66
第11～2表	インフルエンザ (年齢別(男女別))	67
第11～3表	インフルエンザ (予後別(回復している・回復していない別))	68



## 予防接種後副反応報告書集計報告

### I 総 論

本集計報告書は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの間に厚生労働省に報告された予防接種後に生じた副反応疑いの報告について、報告基準にある臨床症状ごとに単純集計し、まとめたものである。

- 1 対象とされたワクチンは、定期接種として実施されたジフテリア・百日せき・破傷風混合（以下「DPT」という。）、ジフテリア・破傷風混合（以下「DT」という。）、ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ混合（以下「DPT-IPV」という。）、不活化ポリオ、麻しん、風しん、麻しん・風しん混合（以下「MR」という。）、日本脳炎、BCG、Hi b、小児の肺炎球菌感染症（以下「PCV」という。）、ヒトパピローマウイルス感染症（以下「HPV」という。）及びインフルエンザの各ワクチンである。
- 2 報告書の集計は、第1報が提出された日時で行い、第2報以降で症例の転帰が明確にされたものなど変更があったものについては追記した。また、既に前回集計報告（平成25年3月31日まで）にて集計され、今回追加報として報告されているものについては集計していない。
- 3 期間中の都道府県別、ワクチン別の報告数をまとめた。  
報告された症例数（副反応疑い報告件数）はDPT（DTを含む。）83例（95件）、DPT-IPV 62例（73件）、不活化ポリオ 10例（13件）、麻しん 0例、風しん 0例、MR 43例（53件）、日本脳炎 100例（121件）、BCG 169例（174件）、Hi b 61例（78件）、PCV 75例（93件）、HPV 127例（217件）、インフルエンザ 60例（65件）の各ワクチンで報告された総数は、790例（982件）であった。
- ※ 1例に2つ以上の副反応疑いが重複しているものがある。  
なお、各ワクチンの症例数（件数）は、接種回数に関わらない総計である。
- 4 法第12条第1項に規定する報告については、対象疾患ごとに症状と発症までの期間が設定され、医師による主観を極力排除した報告基準が予防接種法施行規則に定められている。  
また、その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるものについても報告することとなっている。
- 5 死亡・後遺症等の重症例に関しては、副反応の概要の詳細につき付記する。

## II 各 論

### 1) DPT-DTワクチン(表2-1～3参照)

DPT、DTワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、95件(DPT 67件、DT 28件、男58件、女37件)であり、24時間以内の報告が39件(41.1%)、1～3日の報告が55件(57.9%)であった。

重篤とされたものは18件あり、うち死亡が2件となっている。

#### 【死亡症例の概要】

- 1歳6か月の男児、DPTワクチンとHibワクチンを同時接種した翌日、感冒様症状が出現、40℃台の発熱あり。接種から2日後、呼吸停止の状態で発見され、救急搬送。蘇生処置を行ったが反応なく、死亡が確認された。
- 1歳7か月男児、染色体異常、点状軟骨異形成症、第1頸椎低形成、鼻腔狭窄、両側難聴あり。DPTワクチンとHibのワクチンを同時接種。接種後は接種部位の発赤や腫脹なく呼吸状態安定。自宅到着後、母親が異変に気づき、接種医療機関へ。意識レベルJCS 300、瞳孔散大、顔面蒼白、四肢挙げて冷感強く、心肺停止の状態。直ちに蘇生処置を開始し、高次医療機関に救急搬送。一旦心拍再開したが徐脈傾向が続き、死亡が確認された。

### 2) DPT-IPVワクチン(表3-1～3参照)

DPT-IPVワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、73件(男44件、女29件)であり、24時間以内の報告が35件(47.9%)、1～3日の報告が33件(45.2%)であった。

重篤とされたものは25件あり、うち死亡が4件となっている。

#### 【死亡症例の概要】

- 0歳9か月男児、DPT-IPVのワクチン接種5日後、うつぶせで呼吸をしていないことに家族が気づき、救急要請。救急隊到着時心肺停止の状態で心臓マッサージ施行。搬送後、心静止、皮膚に死斑、関節拘縮、瞳孔散大が認められ、蘇生を行わず死亡確認となった。
- 0歳6か月女児、DPT-IPVワクチン接種の2日後、嘔吐のため、救急搬送され医療機関受診。帰宅後、白色の水様便出現。活気なく、再受診の車中で全身症状の悪化が見られた。到着後心肺蘇生を開始したが、死亡確認。

3) 0歳5か月女児、心房中隔欠損症他、先天奇形あり。DPT-I PVワクチン接種の翌日、腹臥位で呼吸停止となっているのを父親が発見。救急搬送されたが、蘇生に反応しなかった。

4) 0歳6か月男児、DPT-I PVワクチン、BCGワクチン、B型肝炎ワクチン、ロタウイルスワクチンを同時接種した翌日、腹臥位で呼吸停止となっているのを母親が発見。救急搬送し、蘇生処置が施行されたが反応なく、死亡が確認された。司法解剖所見で肺胞内の食物残渣が認められ、嘔吐による窒息が死因と推定された。

### 3 不活化ポリオワクチン(表4-1~3参照)

不活化ポリオワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、13件(男4件、女9件)であり、24時間以内の報告が7件(53.8%)、1~3日での報告が4件(30.8%)であった。

重篤とされたものは2件あるが、死亡・後遺症の報告はなかった。

### 4 麻疹ワクチン(表5-1~3参照)

対象期間における麻疹ワクチン接種後の副反応疑い報告はなかった。

### 5 風疹ワクチン(表6-1~3参照)

対象期間における風疹ワクチン接種後の副反応疑い報告はなかった。

### 6 MRワクチン(表7-1~3参照)

MRワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、53件(男24件、女29件)であり、1~3日及び8~14日での報告が16件(30.2%)、次いで24時間以内の報告が10件(18.9%)であった。

重篤とされたものは25件あり、うち死亡が2件、後遺症が1件となっている。

#### 【死亡・後遺症症例の概要】

1) 18歳7か月男性、MRワクチンを接種した3日後、心肺停止状態であるのを入所している障害者支援施設の寮職員が発見し、心肺蘇生を実施しながら救急搬送を要請したが、救急隊到着時に死亡が確認された。

- 2) 1歳1か月女児、MRワクチンとPCVワクチンの同時接種から3日後に発熱。アデノウイルス迅速検査で陽性。ワクチン接種から11日後には解熱。ワクチン接種の12日後、不機嫌、ふらつきが出現。その後右上肢と右下肢の脱力も出現し、接種から14日後、入院。全身性強直けいれんあり。脳波とMRIの結果から脳炎・脳症が疑われ、ステロイドパルス療法施行。全身けいれんも反復するため、抗けいれん薬の持続点滴を開始。症状は改善したが、右下肢の痙攣性麻痺が軽度残存しているため、リハビリテーション継続中。その後、急性散在性脳脊髄炎と診断。
- 3) 1歳3か月女児、MRワクチン接種の13日後発熱あり、一旦解熱。接種17日後、発熱と熱性けいれんあり。発熱は持続。食欲あり、機嫌は比較的良好だった。接種の19日後、心肺停止となっているのを母親が発見。救急隊到着時には死後硬直が生じていた。

#### 7 日本脳炎ワクチン(表8-1~3参照)

日本脳炎ワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、121件（男53件、女68件）であり、24時間以内の報告が65件（53.7%）、1～3日での報告が32件（26.4%）、4～7日での報告が12件（9.9%）であった。

重篤とされたものは34件あり、うち死亡が1件、後遺症が2件（複数症状のため、実質1件）となっている。

#### 【死亡・後遺症症例の概要】

- 1) 3歳4か月男児、日本脳炎ワクチン接種の16日後、じんましんが出現。接種の17日後に視力低下。医療機関を受診し、両側視神経乳頭浮腫あり。MRIで脊髄広範囲に炎症像、髄液検査でMBPの著明な上昇があり、視神経脊髄炎と判断された。視力障害を遺す可能性あり。
- 2) 3歳1か月の女児、日本脳炎ワクチン接種の5日後、38.9℃の発熱あり。坐薬使用後一旦解熱したが再度発熱。同日中に受診。体温39.2℃、心拍数120回／分。この時点では全身状態良好と判断され帰宅。翌日未明、腹臥位で心肺停止状態で発見され、救急搬送された。搬送先で心肺蘇生に反応せず、死亡確認。病理解剖の結果、急性散在性脳脊髄炎と判明。

#### 8 BCGワクチン(表9-1~3参照)

BCGワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、174件（男111件、女63件）であり、1か月以上2か月未満での報告が72件（41.4%）、次いで2か月以上3か月未満での報告が20件（11.5%）であった。

重篤とされたものは34件あり、うち後遺症が2件となっている。また、非重篤とされた126件のうち2件について後遺症ありとして報告されたものがあった。

#### 【後遺症症例の概要】

- 1) 0歳3か月女児、BCGワクチン接種の約5年後、右手のBCGの接種部位の瘢痕形成を確認。形成外科的対応を要すると思われた。報告医による所見では非重篤とされている。
- 2) 0歳5か月男児、BCGワクチン接種の約9か月後、右手を使用しなくなった。レントゲンで右上腕骨の溶解像を認め、骨腫瘍等を疑われて骨生検施行。病理で肉芽腫様変化。結核菌群PCR陽性で、BCG骨髄炎と診断された。結核を疑わせる家族歴、所見はなし。抗結核薬2剤で治療中。
- 3) 0歳4か月女児、BCGワクチン接種の後約1年7か月後、発熱が1週間あり、抱っこをせがまれることが増えた。その後、歩行が不安定となり徐々に悪化したため、医療機関受診。下肢筋力低下と深部腱反射亢進あり。脊椎MRIで軟部腫瘤形成を認め、脊髓圧迫による対麻痺と診断。腫瘤摘出術施行し、運動機能は改善。病理検査では診断確定せず、骨生検施行。PCR検査でBCG菌DNAを検出し、BCG骨髄炎と診断確定。運動機能は完全に回復したと思われるが骨変形があり、今後の脊椎変形の悪化に注意を要する。抗結核薬内服中。
- 4) 1歳2か月女児、BCGワクチン接種の2か月後に左上腕の皮下腫瘤に気づく。徐々に増大したため医療機関を受診。一旦縮小したため経過観察されていたが、再度増大したため切開。内容物は膿で、細菌抗酸菌培養陰性。皮膚の一部を病理検査に提出。臨床症状と病理所見により皮下組織結核性肉芽腫と診断。瘢痕を遺している。重篤度不明。
- 5) 0歳4か月女児、BCGワクチン接種の約2か月後に腋窩リンパ節腫脹2cmが出現した。皮下組織の癒着を遺している。

#### 9) Hi bワクチン (表1-10 参照)

Hi bワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、78件（男40件、女38件）であり、24時間以内の報告が34件（43.6%）、1～3日での報告が37件（47.4%）であった。

重篤とされたものは25件あり、うち死亡が5件（うち1件が複数症状のため、実質4件）となっている。

### 【死亡症例の概要】

- 1) 0歳3か月女児、Hibワクチン、PCVワクチン、ロタウイルスワクチンを同時接種した夜からやや多呼吸、翌日4回の嘔吐あり、医療機関を受診。受診時、顔色悪く、血液検査で著明な代謝性アシドーシス、高乳酸血症が認められた。その後、全身性強直性けいれんが出現、心肺停止に陥り蘇生処置が行われて自己心拍再開したが、救急搬送先の高次機能病院で、脳虚血強く、血圧の上昇も見られず、その後死亡確認となった。
- 2) 0歳6か月男児、HibワクチンとPCVワクチンを同時接種した3日後、自宅で心肺停止の状態で発見され、救急搬送先で心肺蘇生が施行されたが反応せず、死亡確認。死亡時画像診断で脳浮腫、気管気管支に貯留物を認めた。
- 3) 0歳2か月女児、HibワクチンとPCVワクチンを同時接種した翌日、横臥位で無呼吸の状態の児に母親が気づき、救急搬送された。病院到着時心肺停止状態で、心肺蘇生を施行されたが反応せず、死亡確認。
- 4) 0歳2か月男児、Hibワクチン、PCVワクチン、B型肝炎ワクチン、ロタウイルスワクチンを同時に接種し、2日後に死亡が確認された。解剖施行されたが、明らかな死因特定には至らなかった。

### 140 PCVワクチン(表112-1-3参照)

PCVワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、93件（男52件、女41件）であり、24時間以内の報告が33件（35.5%）、1～3日の報告が52件（55.9%）であった。

重篤とされたものは20件あり、うち死亡が3件となっている。

### 【死亡症例の概要】

- 1) 1歳0か月男児、PCVワクチンとMRワクチンを同時に接種した2日後、嘔吐と39℃の発熱があり解熱剤を使用。接種から3日後、医療機関受診時には鼻汁はあったが嘔吐はなく、全身状態は悪くなかった。接種から4日後の朝、心肺停止の状態で発見され、搬送されたが死亡確認。
- 2) 0歳2か月男児、双胎第1子、低出生体重児。PCVワクチンとHibワクチンを同時に接種した翌日、仰臥位で、呼吸なく、冷たくなっている状態で発見され、救急搬送された。医療機関到着時心肺停止の状態。咽頭・気管内からミルクが吸引された。心肺蘇生が施行されたが反応なく、死亡確認。CTで無気肺と著明な腸管ガス貯留あり、脳出血、骨折、腸穿孔は認めなかった。

3) 0歳2か月男児、HibワクチンとPCVワクチンを同時に接種してから3日後、心肺停止の状態で救急搬送され、死亡が確認された。RSウイルス迅速検査陽性。

#### 11.1 HPVワクチン(表1-2-1~3参照)

HPVワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、217件であり、24時間以内の報告が126件(58.1%)、1~3日の報告が53件(24.4%)であった。

重篤とされたものは70件あり、死亡・後遺症の報告はなかった。また、非重篤とされた144件のうち1件について後遺症ありとして報告されたものがあった。

#### 【後遺症症例の概要】

1) 12歳4か月女児、川崎病の既往あり。HPVワクチン接種約4か月後に左右上腕の疼痛が出現。その後、左右下腿の疼痛のため歩行困難、項部疼痛を來した。副反応疑い症状出現の4日前にDTワクチンの接種歴あり。

#### 11.2 インフルエンザワクチン(表1-3-1~3参照)

インフルエンザワクチン接種後の副反応疑い報告の件数は、65件(男21件、女44件)であり、24時間以内の報告が26件(40.0%)、1~3日の報告が28件(43.1%)であった。

重篤とされたものは24件あり、うち死亡が4件となっている。

#### 【死亡症例の概要】

1) 97歳女性、高血圧、脳梗塞、胆石症、脂質異常症で通院中。インフルエンザワクチンは毎年接種。当該インフルエンザワクチン接種当日は血圧、体温ともに正常で一般状態変化なく、接種後の異常症状もなし。接種後、昼食は摂ったが、夕食は摂取せず就寝。翌朝も食欲なく、水分のみ摂取。起床から3時間47分後、家族が冷たくなっているのを発見し、救急搬送されたが死亡が確認された。

2) 93歳女性、卵アレルギーあり。インフルエンザワクチン接種の2日後に、体の震え、摂食不良、寝たきりとなる。体温37.5度。接種4日後、微熱は持続、息苦しさ増悪、嘔吐・嘔気あり。受診時は体温37.9度、頻脈、心房細動あり、ジゴシン1A使用。補液で栄養補給、酸素吸入し経過観察。翌日解熱、心拍数80台で安定。接種の10日後に再び発熱、マイコプラズマ陽性。その翌日、突然徐脈から心停止に至り、その後、死亡が確認された。

- 3) 82歳女性、糖尿病、高血圧、慢性腎不全あり。インフルエンザワクチン接種の翌日に心肺停止の状態で発見された。発見の2時間14分前の巡視では異常なし。近医へ救急搬送され、心肺蘇生を受けたが、回復なく死亡確認。
- 4) 87歳女性、インフルエンザワクチン接種の約3時間20分後に、酸素飽和度低下。酸素投与でも上がりず、同日死亡が確認された。

(別紙様式1)

## 予防接種後副反応報告書

予防接種法上の定期接種・任意接種の別			<input type="checkbox"/> 定期接種		<input type="checkbox"/> 任意接種		
患者者 (被接種者)	氏名又は イニシャル (定期の場合は氏名、任意の場合はイニシャルを記載)		性別	1 男 2 女	接種時 年齢	歳 月	
	住 所	都 道 府 県	区 市 町 村	生年月日	T S H	年 月 日	
報告者	氏 名	1 接種者 2 主治医 3 その他( )					
	医療機関名				電話番号		
接種場所	住 所						
ワクチン	ワクチンの種類 (②～④は、同時接種したもの記載)	ロット番号	製造販売業者名		接種回数		
	①				① 第 期(回目)		
	②				② 第 期(回目)		
	③				③ 第 期(回目)		
	④				④ 第 期(回目)		
接種の状況	接種日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分	出生体重		グラム (患者が乳幼児の場合に記載)			
	接種前の体温 度 分	家族歴					
	予診票での留意点(基礎疾患、アレルギー、最近1ヶ月以内のワクチン接種や病気、服薬中の薬、過去の副作用歴、発育状況等) 1 有 → 2 無						
症 状 の 概 要	症 状	定期接種の場合で次頁の報告基準に該当する場合は、ワクチンごとに該当する症状に○をしてください。 報告基準にない症状の場合又は任意接種の場合(症状名: )					
	発生日時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分					
	本剤との 因果関係	1 関連あり 2 関連なし 3 評価不能	他要因(他の 疾患等)の可 能性の有無		1 有 → 2 無		
	概要(症状・徵候・臨床経過・診断・検査等)						
○製造販売業者への情報提供 : 1 有 2 無							
症 状 の 程 度	1 死亡 2 障害 3 死亡につながるおそれ 4 障害につながるおそれ 5 入院 病院名: 医師名: 平成 年 月 日 入院 / 平成 年 月 日 退院						
	1 重い → 6 上記1～5に準じて重い 7 後世代における先天性の疾病又は異常						
	2 重くない						
	症 状 の 転 帰	転帰日 平成 年 月 日					
		1 回復 2 軽快 3 未回復 4 後遺症(症状: ) 5 死亡 6 不明					
報告者意見							
報告回数	1 第1報 2 第2報 3 第3報以後						

(別紙様式1)

対象疾病	症 状	発生までの時 間	左記の「その他の反応」を選択した場合の症状
ジフテリア 百日せき 急性灰白髄炎 破傷風	1 アナフィラキシー 2 脳炎・脳症 3 けいれん 4 血小板減少性紫斑病 5 その他の反応	4時間 28日 7日 28日 —	左記の「その他の反応」を選択した場合
麻しん 風しん	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM) 3 脳炎・脳症 4 けいれん 5 血小板減少性紫斑病 6 その他の反応	4時間 28日 28日 21日 28日 —	a 無呼吸 b 気管支けいれん c 急性散在性脳脊髄炎(ADEM) d 多発性硬化症 e 脳炎・脳症 f 脊髄炎 g けいれん h ギランバレー症候群 i 視神經炎 j 顔面神經麻痺 k 末梢神經障害 l 知覚異常 m 血小板減少性紫斑病 n 血管炎 o 肝機能障害 p ネフローゼ症候群 q 喘息発作 r 間質性肺炎 s 皮膚粘膜眼症候群 t ぶどう膜炎 u 関節炎 v 蜂巣炎 w 血管迷走神経反射 x a～w以外の場合は前頁の「症状名」に記載
日本脳炎	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM) 3 脳炎・脳症 4 けいれん 5 血小板減少性紫斑病 6 その他の反応	4時間 28日 28日 7日 28日 —	
結核(BCG)	1 アナフィラキシー 2 全身播種性BCG感染症 3 BCG骨炎(骨髄炎、骨膜炎) 4 皮膚結核様病変 5 化膿性リンパ節炎 6 その他の反応	4時間 1年 2年 3ヶ月 4ヶ月 —	
Hib感染症 小児の肺炎球菌感染症	1 アナフィラキシー 2 けいれん 3 血小板減少性紫斑病 4 その他の反応	4時間 7日 28日 —	
ヒトパピローマウイルス感染症	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM) 3 ギランバレー症候群 4 血小板減少性紫斑病 5 血管迷走神経反射(失神を伴うもの) 6 その他の反応	4時間 28日 28日 28日 30分 —	
インフルエンザ	1 アナフィラキシー 2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM) 3 脳炎・脳症 4 けいれん 5 ギランバレー症候群 6 血小板減少性紫斑病 7 血管炎 8 肝機能障害 9 ネフローゼ症候群 10 喘息発作 11 間質性肺炎 12 皮膚粘膜眼症候群 13 その他の反応	4時間 28日 28日 7日 28日 28日 28日 28日 28日 24時間 28日 28日 —	

<注意事項>

- 報告にあたっては、記入要領を参考に、記入してください。
- 必要に応じて、適宜、予診票等、接種時の状況の分かるものを添付してください。
- 報告基準にある算用数字を付している症状については、「その他の反応」を除き、それぞれ定められている時間までに発症した場合は、因果関係の有無に問わず、国に報告することが予防接種法等で義務付けられています。
- 報告基準中の「その他の反応」については、①入院、②死亡又は永続的な機能不全に陥る又は陥るおそれがある場合であって、それが予防接種を受けたことによるものと疑われる症状について、報告してください。なお、アルファベットで例示した症状で該当するものがある場合には、○で囲んでください。
- 報告基準中の発生までの時間を超えて発生した場合であっても、それが予防接種を受けたことによるものと疑われる症状については、「その他の反応」として報告してください。その際には、アルファベットで例示した症状で該当するものがある場合には、○で囲んでください。
- 報告基準は、予防接種後に一定の期間内に現れた症状を報告するためのものであり、予防接種との因果関係や予防接種健康被害救済と直接に結びつくものではありません。
- 記入欄が不足する場合には、別紙に記載し、報告書に添付してください。
- 報告された情報については、原則として、患者(被接種者)氏名、生年月日を除き、厚生労働省、国立感染症研究所、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、製造販売業者等と共有します。また、医薬品医療機器総合機構又は製造販売業者が報告を行った医療機関等に対し、詳細調査を行う場合があります。調査へのご協力をお願いします。
- 報告された情報については、ワクチンの安全対策の一環として、広く情報を公表することができますが、その場合には、施設名及び患者のプライバシー等に関する部分は除きます。



第2-1表  
DPT・DT

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
総 数	95	39	55	0	0	0	0	1
1 アナフィラキシー	5	5						
2 脳炎・脳症	1		1					
3 けいれん	7	4	3					
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	82	30	51					1

第2-2表  
DPT・DT  
年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	95	1	29	15	8	6	8	28
1 アナフィラキシー	5		2			1		2
2 脳炎・脳症	1		1					
3 けいれん	7	1	4	1				1
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	82		22	14	8	5	8	25

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	58	0	22	8	5	5	5	13
1 アナフィラキシー	3		2					1
2 脳炎・脳症	1		1					
3 けいれん	4		3					1
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	50		16	8	5	5	5	11

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	37	1	7	7	3	1	3	15
1 アナフィラキシー	2					1		1
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	3	1	1	1				
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	32		6	6	3		3	14

第2-3表

DPT・DT

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

## 総数

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	95	39	19	7	0	2	8	20
1 アナフィラキシー	5	3	1			1		
2 脳炎・脳症	1							1
3 けいれん	7	6						1
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	82	30	18	7		1	8	18

## 重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	18	5	8	0	0	2	0	3
1 アナフィラキシー	3	1	1			1		
2 脳炎・脳症	1							1
3 けいれん	2	1						1
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	12	3	7			1		1

## 非重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	69	31	11	6	0	0	7	14
1 アナフィラキシー	2	2						
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	5	5						
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	62	24	11	6			7	14

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第3-1表  
DPT-IPV

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
総 数	73	35	33	3	1	1	0	0
1 アナフィラキシー	3	3						
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	10	6	3	1				
4 血小板減少性紫斑病	4	1	1	1	1			
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	56	25	29	1		1		

第3-2表  
DPT-IPV

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	73	67	5	0	1	0	0	0
1 アナフィラキシー	3	3						
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	10	10						
4 血小板減少性紫斑病	4	4						
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	56	50	5			1		

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	44	40	3	0	1	0	0	0
1 アナフィラキシー	2	2						
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	5	5						
4 血小板減少性紫斑病	3	3						
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	34	30	3			1		

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	29	27	2	0	0	0	0	0
1 アナフィラキシー	1	1						
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	5	5						
4 血小板減少性紫斑病	1	1						
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	22	20	2					

第3-3表

DPT-IPV

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

## 総数

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	3	2	1					
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	10	4	3				2	1
4 血小板減少性紫斑病	4	2	1	1				
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	56	35	10	1		4	1	5

## 重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	25	7	6	1	0	4	3	4
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	6	2	1				2	1
4 血小板減少性紫斑病	4	2	1	1				
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	15	3	4			4	1	3

## 非重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	3	2	1				0	2
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	4	2	2					
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	28	19	6	1				2

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第4-1表  
不活化ポリオ

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
1 アナフィラキシー								
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	2		1	1				
4 血小板減少性紫斑病	1				1			
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	10		6	3	1			

第4-2表  
不活化ポリオ

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
1 アナフィラキシー								
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	2				1		1	
4 血小板減少性紫斑病	1			1				
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	10			1	8		1	

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
1 アナフィラキシー								
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	1				1			
4 血小板減少性紫斑病	1			1				
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	2				2			

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
1 アナフィラキシー								
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	1						1	
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	8			1	6		1	

第4-3表

不活化ポリオ

症状の転帰別(重篤・非重篤別)

## 総数

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	13	10	1	0	0	0	0	2
1 アナフィラキシー								
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	2	2						
4 血小板減少性紫斑病	1		1					
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	10	8						2

## 重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	2	1	0	0	0	0	0	1
1 アナフィラキシー								
2 脳炎・脳症								
3 けいれん								
4 血小板減少性紫斑病								
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	2	1						1

## 非重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	9	7	1	0	0	0	0	1
1 アナフィラキシー								
2 脳炎・脳症								
3 けいれん	1	1						
4 血小板減少性紫斑病	1		1					
5 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	7	6						1

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第5-1表  
麻しん

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

第5-2表  
麻しん

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)						
3 脳炎・脳症						
4 けいれん						
5 血小板減少性紫斑病						
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの						

男

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)						
3 脳炎・脳症						
4 けいれん						
5 血小板減少性紫斑病						
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの						

女

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)						
3 脳炎・脳症						
4 けいれん						
5 血小板減少性紫斑病						
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの						

第5-3表

麻しん

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

総数

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
		0	0	0	0	0	0	0
1 アナフィラキシー								
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
		0	0	0	0	0	0	0
1 アナフィラキシー								
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

非重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
		0	0	0	0	0	0	0
1 アナフィラキシー								
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第6-1表

風しん

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

第6-2表

風しん

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)						
3 脳炎・脳症						
4 けいれん						
5 血小板減少性紫斑病						
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの						

男

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)						
3 脳炎・脳症						
4 けいれん						
5 血小板減少性紫斑病						
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの						

女

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー		0	0	0	0	0
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)						
3 脳炎・脳症						
4 けいれん						
5 血小板減少性紫斑病						
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの						

第6-3表

風しん

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

総数

	総数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数		0	0	0	0	0	0	0
1 アナフィラキシー								
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

重篤

	総数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数		0	0	0	0	0	0	0
1 アナフィラキシー								
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

非重篤

	総数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数		0	0	0	0	0	0	0
1 アナフィラキシー								
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん								
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの								

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第7-1表  
MR

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
1 アナフィラキシー	2	2						
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	4			1		1	1	1
3 脳炎・脳症	2					2		
4 けいれん	8		1	1	1	4	1	
5 血小板減少性紫斑病	6			2	1	3		
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	31		7	12	3	6	3	

第7-2表

MR

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー	2	1	1			
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	4	2		2		
3 脳炎・脳症	2	2				
4 けいれん	8	6		1		1
5 血小板減少性紫斑病	6	6				
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	31	17	6	6	1	1

男

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー	2	1	1			
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	3	1		2		
3 脳炎・脳症	1	1				
4 けいれん	4	3				1
5 血小板減少性紫斑病	2	2				
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	12	4	2	4	1	1

女

	総 数	1歳	5歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 アナフィラキシー	2					
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	1	1				
3 脳炎・脳症	1	1				
4 けいれん	4	3		1		
5 血小板減少性紫斑病	4	4				
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	19	13	4	2		

第7-3表

MR

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

総数

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	53	23	15	8	1	2	1	3
1 アナフィラキシー	2	1	1					
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	4		2	1	1			
3 脳炎・脳症	2	1		1				
4 けいれん	8	5	1	1			1	
5 血小板減少性紫斑病	6	3	3					
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	31	13	8	5		2		3

重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	25	9	9	4	1	2	0	0
1 アナフィラキシー								
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	4		2	1	1			
3 脳炎・脳症	2	1		1				
4 けいれん	4	4						
5 血小板減少性紫斑病	5	2	3					
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	10	2	4	2		2		

非重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	25	13	6	4	0	0	0	2
1 アナフィラキシー	2	1	1					
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)								
3 脳炎・脳症								
4 けいれん	2		1	1				
5 血小板減少性紫斑病	1	1						
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	20	11	4	3				2

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第8-1表  
日本脳炎

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
総 数	121	65	32	12	2	6	3	1
1 アナフィラキシー	5	5						
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	7			4		2	1	
3 脳炎・脳症	3		1		1	1		
4 けいれん	18	8	8	1			1	
5 血小板減少性紫斑病	2			1			1	
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	86	52	23	6	1	3		1

第8-2表  
日本脳炎

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	16歳以上
総 数	121	1	0	0	60	8	18	30	4
1 アナフィラキシー	5				3	1			1
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	7				6			1	
3 脳炎・脳症	3				2			1	
4 けいれん	18				10	2	3	1	2
5 血小板減少性紫斑病	2				1		1		
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	86	1			38	5	14	26	2

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	16歳以上
総 数	53	1	0	0	24	6	9	11	2
1 アナフィラキシー	3				1	1			1
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	2				2				
3 脳炎・脳症	2				1			1	
4 けいれん	12				7	1	2	1	1
5 血小板減少性紫斑病	1						1		
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	33	1			13	4	6	8	1

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	16歳以上
総 数	68	0	0	0	36	2	9	19	2
1 アナフィラキシー	2				2				
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	5				4			1	
3 脳炎・脳症	1				1				
4 けいれん	6				3	1	1		1
5 血小板減少性紫斑病	1				1				
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	53				25	1	8	18	1

第8-3表

## 日本脳炎

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

総数

	総数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	121	69	28	5	2	1	7	9
1 アナフィラキシー	5	4	1					
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	7		3	1		1	1	1
3 脳炎・脳症	3	1	1					1
4 けいれん	18	12	4				2	
5 血小板減少性紫斑病	2			1				1
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	86	52	19	3	2		4	6

重篤

	総数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	34	12	12	2	2	1	2	3
1 アナフィラキシー	2	2						
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	6		2	1		1	1	1
3 脳炎・脳症	3	1	1					1
4 けいれん	4	2	1					1
5 血小板減少性紫斑病	2			1				1
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	17	7	8		2			

非重篤

	総数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
総 数	78	51	16	3	0	0	2	6
1 アナフィラキシー	2	1	1					
2 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	1		1					
3 脳炎・脳症								
4 けいれん	14	10	3					1
5 血小板減少性紫斑病								
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	61	40	11	3			1	6

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第9-1表

B C G

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~1ヶ月	~2ヶ月	~3ヶ月	~4ヶ月	~5ヶ月	~6ヶ月	6ヶ月~	不明
1 アナフィラキシー	2	2										
2 全身播種性BCG感染症	2					2						
3 BCG骨炎(骨髓炎、骨膜炎)	10										5	
4 皮膚結核病変	40		1		3	20	3	1			11	12
5 化膿性リババ筋炎	74	2			2	30	10	9	1	1	4	15
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	46		5	2		2	20	7	1		3	5

第9-2表

B C G

年齢別(男女別)

総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	16歳以上
1 アナフィラキシー	2	2						
2 全身播種性BCG感染症	2	2						
3 BCG骨炎(骨髓炎、骨膜炎)	10	10						
4 皮膚結核病変	40	38	2					
5 化膿性リババ筋炎	74	72	2					
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	46	44	2					

男

総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	16歳以上
1 アナフィラキシー	1	1						
2 全身播種性BCG感染症								
3 BCG骨炎(骨髓炎、骨膜炎)	7	7						
4 皮膚結核病変	27	26	1					
5 化膿性リババ筋炎	50	49	1					
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	26	25	1					

女

総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	16歳以上
1 アナフィラキシー	1	1						
2 全身播種性BCG感染症	2	2						
3 BCG骨炎(骨髓炎、骨膜炎)	3	3						
4 皮膚結核病変	13	12	1					
5 化膿性リババ筋炎	24	23	1					
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	20	19	1					

第9-3表

B C G

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

総数

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	2	1	1					
2 全身播種性BCG感染症	2		1					1
3 BCG骨炎(骨髓炎、骨膜炎)	10	1	1	2	2		1	3
4 皮膚結核様病変	40	8	12	5	1	2	2	12
5 化膿性リンパ筋炎	74	8	18	27				21
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であつて、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	46		12	9	8	2	4	11

重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	34	6	10	7	2	0	2	7
2 全身播種性BCG感染症	2		1					1
3 BCG骨炎(骨髓炎、骨膜炎)	10	1	1	2	2		1	3
4 皮膚結核様病変	3			1			1	1
5 化膿性リンパ筋炎	13	1	7	3				2
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であつて、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	6	4	1	1				

非重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	126	19	31	30	2	0	4	40
2 全身播種性BCG感染症	2	1	1					
3 BCG骨炎(骨髓炎、骨膜炎)								
4 皮膚結核様病変	32	7	11	3		1		10
5 化膿性リンパ筋炎	50	7	11	23				19
6 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であつて、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	32	4	8	4	2		3	11

(注)重篤と非重篤の合計が複数と合わないのは、不明の分である。

第10-1表  
H i b

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
総 数	78	34	37	4	2	0	0	1
1 アナフィラキシー	2	2						
2 けいれん	10	5	3	1				1
3 血小板減少性紫斑病	6		2	2	2			
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	60	27	32	1				

第10-2表  
H i b

年齢別(男女別)

総 数	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	78	58	13	2	3	2	0	0
1 アナフィラキシー	2	1	1					
2 けいれん	10	7	2		1			
3 血小板減少性紫斑病	6	4	2					
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	60	46	8	2	2	2		

男

総 数	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	40	32	6	0	0	2	0	0
1 アナフィラキシー	2	1	1					
2 けいれん	4	2	2					
3 血小板減少性紫斑病	3	3						
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	31	26	3				2	

女

総 数	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	38	26	7	2	3	0	0	0
1 アナフィラキシー								
2 けいれん	6	5			1			
3 血小板減少性紫斑病	3	1	2					
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	29	20	5	2	2			

第10-3表

H i b

## 症状の転帰別(重篤・非重篤別)

総数

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	2	2						
2 けいれん	10	7	1			1		1
3 血小板減少性紫斑病	6	2	3					1
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	60	26	16	1		4	7	6

重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	1	1						
2 けいれん	2	1				1		
3 血小板減少性紫斑病	6	2	3					1
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	16	2	2			4	6	2

非重篤

	総 数	回復	軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	記入無
1 アナフィラキシー	1	1						
2 けいれん	7	6	1					
3 血小板減少性紫斑病								
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	42	24	14	1				3

(注)重篤と非重篤の合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第11-1表

PCV

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~	不明
総 数	93	33	52	2	2	0	3	1
1 アナフィラキシー	2	2						
2 けいれん	4	3	1					
3 血小板減少性紫斑病	5		1	1	2			1
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	82	28	50	1			3	

第11-2表

PCV

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	93	53	26	6	4	4	0	0
1 アナフィラキシー	2	2						
2 けいれん	4	2	1	1				
3 血小板減少性紫斑病	5	4	1					
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	82	45	24	5	4	4		

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	52	30	18	1	1	2	0	0
1 アナフィラキシー	2	2						
2 けいれん	2	1	1					
3 血小板減少性紫斑病	4	3	1					
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	44	24	16	1	1	2		

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	41	23	8	5	3	2	0	0
1 アナフィラキシー								
2 けいれん	2	1		1				
3 血小板減少性紫斑病	1	1						
4 その他医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を必要とするもの、死亡、身体の機能の障害に至るもの又は死亡若しくは身体の機能の障害に至るおそれのあるもの	38	21	8	4	3	2		













# 集計報告書累計

(平成6年10月1日～平成25年3月31日)

※ 報告基準が平成25年度の法制化により変更されたため、  
平成24年度年報の再掲となっている。



第2-1表  
DPT・DT

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
1 即時性全身反応	214	183	23				8
1A アナフィラキシー	79	66	8				5
1B 全身尋麻疹	135	117	15				3
2 脳炎、脳症	12	5	6				1
3 けいれん	102	53	43	5	1		
4 運動障害	2		1		1		
5 その他の神経障害	24	9	10	1	2	1	1
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1801	792	978	20	3	1	7
7 全身の発疹	197	115	75	5	1		1
8 39° 以上の発熱	491	337	144	6	2	1	1
9 その他の異常反応	107	67	21	4	6	6	3
10 基準外報告	1132	638	413	29	21	5	26
10A 局所反応(発赤腫脹等)	785	418	308	21	11	4	23
10B 全身反応(発熱等)	262	169	87	2	2		2
10C その他	85	51	18	6	8	1	1

第2-2表  
DPT・DT

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	4084	748	989	1018	506	229	217	377
1 即時性全身反応	214	70	37	30	11	12	2	52
1A アナフィラキシー	79	8	10	10	6	8	2	35
1B 全身蕁麻疹	135	62	27	20	5	4		17
2 脳炎、脳症	12	4	5		1		1	1
3 けいれん	102	46	31	12	3	2	4	4
4 運動障害	2		1		1			
5 その他の神経障害	24	5	6	3	1			9
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1801	112	459	603	296	144	119	68
7 全身の発疹	197	112	34	17	13	3	2	16
8 39° 以上の発熱	491	162	144	89	35	10	21	30
9 その他の異常反応	108	35	17	13	3	2	5	33
10 基準外報告	1133	202	255	251	142	56	63	164
10A 局所反応(発赤腫脹等)	786	106	169	197	101	46	51	116
10B 全身反応(発熱等)	262	56	76	45	35	10	9	31
10C その他	85	40	10	9	6		3	17

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	2448	396	581	662	315	150	143	201
1 即時性全身反応	112	40	19	20	6	6	1	20
1A アナフィラキシー	33	3	4	6	3	4	1	12
1B 全身蕁麻疹	79	37	15	14	3	2		8
2 脳炎、脳症	9	3	3		1		1	1
3 けいれん	43	16	12	8	1	2	3	1
4 運動障害	2		1		1			
5 その他の神経障害	14	2	4	2	1			5
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1189	61	290	415	197	97	80	49
7 全身の発疹	105	62	16	7	7	1	2	10
8 39° 以上の発熱	295	96	85	54	21	7	15	17
9 その他の異常反応	56	16	11	8	1	2	4	14
10 基準外報告	623	100	140	148	79	35	37	84
10A 局所反応(発赤腫脹等)	454	57	102	120	55	25	31	64
10B 全身反応(発熱等)	130	26	33	23	20	10	5	13
10C その他	39	17	5	5	4		1	7

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	1635	352	408	356	191	79	73	176
1 即時性全身反応	106	34	18	10	5	6	1	32
1A アナフィラキシー	46	5	6	4	3	4	1	23
1B 全身蕁麻疹	60	29	12	6	2	2		9
2 脳炎、脳症	3	1	2					
3 けいれん	57	28	19	4	2		1	3
4 運動障害								
5 その他の神経障害	10	3	2	1				4
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	611	51	169	188	99	47	38	19
7 全身の発疹	90	48	18	10	6	2		6
8 39° 以上の発熱	194	64	59	35	14	3	6	13
9 その他の異常反応	53	20	6	5	2		1	19
10 基準外報告	511	103	115	103	63	21	26	80
10A 局所反応(発赤腫脹等)	332	49	67	77	46	21	20	52
10B 全身反応(発熱等)	132	30	43	22	15		4	18
10C その他	47	24	5	4	2		2	10

第2-3表

DPT・DT

予後別(回復している・回復していない別)

総 数

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	4070	786	22	12	221	25	1106	1898
1 即時性全身反応	214	55	1	1	22	2	54	79
1A アナフィラキシー	79	21	1	1	11	2	19	24
1B 全身蕁麻疹	135	34			11		35	55
2 脳炎、脳症	12		2		9	1		
3 けいれん	102	4		1	52	7	19	19
4 運動障害	2				1	1		
5 その他の神経障害	24	3			12	1	3	5
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1800	327	1	1	13	2	542	914
7 全身の発疹	197	54			10	1	47	85
8 39°以上の発熱	491	103	2	1	25	3	115	242
9 その他の異常反応	108	16	5	2	37	1	23	24
10 基準外報告	1120	224	11	6	40	6	303	530
10A 局所反応(発赤腫脹等)	786	165		1	8	6	212	394
10B 全身反応(発熱等)	262	48		2	14		73	125
10C その他	84	11	11	3	18		20	21

回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	2716	777		9	178	5	744	1003
1 即時性全身反応	167	55		1	20	1	44	46
1A アナフィラキシー	66	21		1	10	1	18	15
1B 全身蕁麻疹	101	34			10		26	31
2 脳炎、脳症	3				3			
3 けいれん	68	4		1	41	1	13	8
4 運動障害								
5 その他の神経障害	14	3			9			2
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1159	324		1	12	1	357	464
7 全身の発疹	145	54			10		30	51
8 39°以上の発熱	337	103		1	23		80	130
9 その他の異常反応	85	16		2	31		16	20
10 基準外報告	738	218		3	29	2	204	282
10A 局所反応(発赤腫脹等)	498	161			7	2	137	191
10B 全身反応(発熱等)	191	48		2	10		53	78
10C その他	49	9		1	12		14	13

回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	681	4	13	1	30	19	228	386
1 即時性全身反応	28				1	1	6	20
1A アナフィラキシー	9					1		8
1B 全身蕁麻疹	19				1		6	12
2 脳炎、脳症	8		2		5	1		
3 けいれん	15				6	6	2	1
4 運動障害	2				1	1		
5 その他の神経障害	6				3	1	1	1
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	318	2				1	121	194
7 全身の発疹	27					1	11	15
8 39°以上の発熱	60		2		2	3	16	37
9 その他の異常反応	12		2		4	1	5	
10 基準外報告	205	2	7	1	8	3	66	118
10A 局所反応(発赤腫脹等)	142	1			1	3	47	90
10B 全身反応(発熱等)	37				2		13	22
10C その他	19	1	5	1	2		4	6

(注)回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第3-1表  
DPT-IPV

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
総 数	20	16	3			1	
1 即時性全身反応	5	5					
1A アナフィラキシー	1	1					
1B 全身痺麻疹	4	4					
2 脳炎、脳症							
3 けいれん	2	2					
4 運動障害							
5 その他の神経障害	1	1					
6 局所の異常腫脹(肘を越える)							
7 全身の発疹	1		1				
8 39° 以上の発熱	5	4	1				
9 その他の異常反応	3	2				1	
10 基準外報告	3	2	1				
10A 局所反応(発赤腫脹等)							
10B 全身反応(発熱等)	2	1	1				
10C その他	1	1					

第3-2表  
DPT-IPV

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	20	20						
1 即時性全身反応	5	5						
1A アナフィラキシー	1	1						
1B 全身蕁麻疹	4	4						
2 脳炎、脳症								
3 けいれん	2	2						
4 運動障害								
5 その他の神経障害	1	1						
6 局所の異常腫脹(肘を越える)								
7 全身の発疹	1	1						
8 39° 以上の発熱	5	5						
9 その他の異常反応	3	3						
10 基準外報告	3	3						
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)	2	2						
10C その他	1	1						

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	10	10						
1 即時性全身反応	2	2						
1A アナフィラキシー	1	1						
1B 全身蕁麻疹	1	1						
2 脳炎、脳症								
3 けいれん	2	2						
4 運動障害								
5 その他の神経障害	1	1						
6 局所の異常腫脹(肘を越える)								
7 全身の発疹								
8 39° 以上の発熱	3	3						
9 その他の異常反応	2	2						
10 基準外報告								
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)								
10C その他								

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	10	10						
1 即時性全身反応	3	3						
1A アナフィラキシー								
1B 全身蕁麻疹	3	3						
2 脳炎、脳症								
3 けいれん								
4 運動障害								
5 その他の神経障害								
6 局所の異常腫脹(肘を越える)								
7 全身の発疹	1	1						
8 39° 以上の発熱	2	2						
9 その他の異常反応	1	1						
10 基準外報告	3	3						
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)	2	2						
10C その他	1	1						

第3-3表  
DPT-IPV

予後別(回復している・回復していない別)

総 数

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	20	1	2		3		2	12
1 即時性全身反応	5	1			1		1	2
1A アナフィラキシー	1							1
1B 全身痺麻疹	4	1			1		1	1
2 脳炎、脳症								
3 けいれん	2				1			1
4 運動障害								
5 その他の神経障害	1							1
6 局所の異常腫脹(肘を越える)								
7 全身の発疹	1							1
8 39° 以上の発熱	5							5
9 その他の異常反応	3		2				1	
10 基準外報告	3				1			2
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)	2				1			1
10C その他	1							1

回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	12	1			3		2	6
1 即時性全身反応	5	1			1		1	2
1A アナフィラキシー	1							1
1B 全身痺麻疹	4	1			1		1	1
2 脳炎、脳症								
3 けいれん	2				1			1
4 運動障害								
5 その他の神経障害								
6 局所の異常腫脹(肘を越える)								
7 全身の発疹								
8 39° 以上の発熱	1							1
9 その他の異常反応	1						1	
10 基準外報告	3				1			2
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)	2				1			1
10C その他	1							1

回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	3		2					1
1 即時性全身反応								
1A アナフィラキシー								
1B 全身痺麻疹								
2 脳炎、脳症								
3 けいれん								
4 運動障害								
5 その他の神経障害								
6 局所の異常腫脹(肘を越える)								
7 全身の発疹								
8 39° 以上の発熱	1							1
9 その他の異常反応	2		2					
10 基準外報告								
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)								
10C その他								

(注)回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第4-1表  
不活性ポリオ

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
1 即時性全身反応	9	9					
1A アナフィラキシー	4	4					
1B 全身蕁麻疹	5	5					
2 脳炎、脳症	1			1			
3 けいれん	5	5					
4 運動障害	2			1	1		
5 その他の神経障害	3	1	2				
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	4	2	2				
7 全身の発疹	7	3	4				
8 39° 以上の発熱	26	16	9		1		
9 その他の異常反応	6	4	1			1	
10 基準外報告	2	1		1			
10A 局所反応(発赤腫脹等)							
10B 全身反応(発熱等)	1	1					
10C その他	1			1			

第4-2表  
不活化ポリオ  
年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	64	40	17	1	5	1		
1 即時性全身反応	9	6	2			1		
1A アナフィラキシー	4	2	1			1		
1B 全身蕁麻疹	5	4	1					
2 脳炎、脳症	1				1			
3 けいれん	4	4						
4 運動障害	2		1		1			
5 その他の神経障害	3	2			1			
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	4	2	2					
7 全身の発疹	7	6	1					
8 39° 以上の発熱	26	15	8	1	2			
9 その他の異常反応	6	4	2					
10 基準外報告	2	1	1					
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)	1		1					
10C その他	1	1						

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	23	17	5	1				
1 即時性全身反応	5	4	1					
1A アナフィラキシー	2	1	1					
1B 全身蕁麻疹	3	3						
2 脳炎、脳症								
3 けいれん								
4 運動障害								
5 その他の神経障害	1	1						
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	2	1	1					
7 全身の発疹	3	2	1					
8 39° 以上の発熱	10	7	2	1				
9 その他の異常反応	1	1						
10 基準外報告	1	1						
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)								
10C その他	1	1						

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	41	23	12		5	1		
1 即時性全身反応	4	2	1			1		
1A アナフィラキシー	2	1				1		
1B 全身蕁麻疹	2	1	1					
2 脳炎、脳症	1				1			
3 けいれん	4	4						
4 運動障害	2		1		1			
5 その他の神経障害	2	1			1			
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	2	1	1					
7 全身の発疹	4	4						
8 39° 以上の発熱	16	8	6		2			
9 その他の異常反応	5	3	2					
10 基準外報告	1		1					
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)	1		1					
10C その他								

第4-3表  
不活性ポリオ

予後別(回復している・回復していない別)

総 数

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	65	4	1		6		15	39
1 即時性全身反応	9	1					2	6
1A アナフィラキシー	4	1						3
1B 全身蕁麻疹	5						2	3
2 脳炎、脳症	1				1			
3 けいれん	5				1		2	2
4 運動障害	2				2			
5 その他の神経障害	3						1	2
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	4							4
7 全身の発疹	7	1					2	4
8 39°以上の発熱	26	2			1		5	18
9 その他の異常反応	6		1		1		3	1
10 基準外報告	2							2
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)	1							1
10C その他	1							1

回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	42	4			4		14	20
1 即時性全身反応	6	1					2	3
1A アナフィラキシー	3	1						2
1B 全身蕁麻疹	3						2	1
2 脳炎、脳症								
3 けいれん	5				1		2	2
4 運動障害	1				1			
5 その他の神経障害	2						1	1
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1							1
7 全身の発疹	5	1					2	2
8 39°以上の発熱	17	2			1		4	10
9 その他の異常反応	5				1		3	1
10 基準外報告								
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)								
10C その他								

回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	7		1		2		1	3
1 即時性全身反応	1							1
1A アナフィラキシー								
1B 全身蕁麻疹	1							1
2 脳炎、脳症	1				1			
3 けいれん								
4 運動障害	1				1			
5 その他の神経障害								
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1							1
7 全身の発疹								
8 39°以上の発熱	2						1	1
9 その他の異常反応	1		1					
10 基準外報告								
10A 局所反応(発赤腫脹等)								
10B 全身反応(発熱等)								
10C その他								

(注)回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第5-1表  
麻しん  
日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
総 数	899	437	94	148	207	10	3
1 即時性全身反応	208	194	11	1	2		
1A アナフィラキシー	68	68					
1B 全身荨麻疹	140	126	11	1	2		
2 脳炎、脳症	7			2	4		1
3 けいれん	77	3	8	31	34	1	
4 運動障害	3		1	1	1		
5 その他の神経障害	9		4	1	4		
6 その他の異常反応	347	190	42	46	66	3	
6A 発疹	284	146	39	41	57	1	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	46	42	2	1	1		
6C その他	17	2	1	4	8	2	
7 基準外報告	248	50	28	66	96	6	2
7A 全身反応(發熱等)	217	39	26	60	87	4	1
7B その他	31	11	2	6	9	2	1

第5-2表  
麻しん  
総数

年齢別(男女別)

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総数	899	5	741	91	35	15	12	
1 即時性全身反応	208	2	162	29	11	3	1	
1A アナフィラキシー	68	2	45	12	6	2	1	
1B 全身蕁麻疹	140		117	17	5	1		
2 脳炎、脳症	7		4	1		2		
3 けいれん	77		67	7	1	1	1	
4 運動障害	3		2	1				
5 その他の神経障害	9		8				1	
6 その他の異常反応	347	2	289	37	11	5	3	
6A 発疹	284	2	239	28	9	4	2	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	46		35	8	2	1		
6C その他	17		15	1			1	
7 基準外報告	248	1	209	16	12	4	6	
7A 全身反応(発熱等)	217	1	183	12	12	3	6	
7B その他	31		26	4		1		

男

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総数	453	2	375	43	13	10	10	
1 即時性全身反応	100		80	14	3	2	1	
1A アナフィラキシー	36		27	7		1	1	
1B 全身蕁麻疹	64		53	7	3	1		
2 脳炎、脳症	4		3			1		
3 けいれん	47		41	4		1	1	
4 運動障害	2		2					
5 その他の神経障害	4		4					
6 その他の異常反応	170	1	141	18	4	3	3	
6A 発疹	137	1	115	13	4	2	2	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	23		17	5		1		
6C その他	10		9				1	
7 基準外報告	126	1	104	7	6	3	5	
7A 全身反応(発熱等)	106	1	88	4	6	2	5	
7B その他	4			3		1		

女

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総数	446	3	366	48	22	5	2	
1 即時性全身反応	108	2	82	15	8	1		
1A アナフィラキシー	32	2	18	5	6	1		
1B 全身蕁麻疹	76		64	10	2			
2 脳炎、脳症	3		1	1		1		
3 けいれん	30		26	3	1			
4 運動障害	1			1				
5 その他の神経障害	5		4				1	
6 その他の異常反応	177	1	148	19	7	2		
6A 発疹	147	1	124	15	5	2		
6B 局所反応(発赤腫脹等)	23		18	3	2			
6C その他	7		6	1				
7 基準外報告	122		105	9	6	1	1	
7A 全身反応(発熱等)	111		95	8	6	1	1	
7B その他	11		10	1				

第5-3表  
麻しん

予後別(回復している・回復していない別)

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	207	76	5	1	25		34	71
1A アナフィラキシー	68	21			15		11	21
1B 全身痺麻疹	139	55		1	10		23	50
2 脳炎、脳症	7			2		4		1
3 けいれん	77	7	1	1	41		10	17
4 運動障害	3					3		
5 その他の神経障害	9				4	3		2
6 その他の異常反応	347	72	1	2	40		81	151
6A 発疹	284	64		1	29		65	125
6B 局所反応(発赤腫脹等)	46	7			3		14	22
6C その他	17	1	1	1	8		2	4
7 基準外報告	248	46	3	1	56	2	45	95
7A 全身反応(発熱等)	217	42	2	1	50	2	42	78
7B その他	26	4	1		1		3	17

回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	171	73		1	23		29	45
1A アナフィラキシー	59	20			15		9	15
1B 全身痺麻疹	112	53		1	8		20	30
2 脳炎、脳症	2					2		
3 けいれん	63	7		1	35		7	13
4 運動障害	1					1		
5 その他の神経障害	3				2			1
6 その他の異常反応	261	72		1	29		60	99
6A 発疹	222	64		1	21		49	87
6B 局所反応(発赤腫脹等)	29	7			2		9	11
6C その他	10	1			6		2	1
7 基準外報告	186	46		1	40	1	34	64
7A 全身反応(発熱等)	161	42		1	37	1	32	48
7B その他	25	4			3		2	16

回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	11						3	8
1A アナフィラキシー	2						1	1
1B 全身痺麻疹	9						2	7
2 脳炎、脳症	5			2		2		1
3 けいれん	8		1		3		2	2
4 運動障害	1					1		
5 その他の神経障害	5				3	1		1
6 その他の異常反応	36		1	1	6		11	17
6A 発疹	27				4		9	14
6B 局所反応(発赤腫脹等)	4						2	2
6C その他	5		1	1	2			1
7 基準外報告	42		3		12	1	8	18
7A 全身反応(発熱等)	38		2		10	1	7	18
7B その他	2		1				1	

(注)回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第6-1表  
風しん  
日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
1 即時性全身反応	126	123	2				1
1A アナフィラキシー	51	50					1
1B 全身蕁麻疹	75	73	2				
2 脳炎、脳症	1					1	
3 けいれん	11	5	2		4		
4 運動障害	1	1					
5 その他の神経障害	9	4	1	2		2	
6 その他の異常反応	221	120	32	16	32	18	3
6A 発疹	75	51	8	6	8	2	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	71	51	14	5	1		
6C その他	75	18	10	5	23	16	3
7 基準外報告	93	67	8	10	7	1	
7A 全身反応(発熱等)	30	15	3	6	5	1	
7B その他	61	52	5	4			

第6-2表  
風しん  
総数

年齢別(男女別)

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	15歳以上
総 数	462	5	96	83	50	24	141	59	4
1 即時性全身反応	126	1	23	30	23	13	21	15	
1A アナフィラキシー	51		8	14	7	7	8	7	
1B 全身痺麻疹	75	1	15	16	16	6	13	8	
2 脳炎、脳症	1		1						
3 けいれん	11		5	4	1			1	
4 運動障害	1						1		
5 その他の神経障害	9			1	2			6	
6 その他の異常反応	221	3	54	42	21	7	71	20	3
6A 発疹	75	1	26	19	10	5	8	5	1
6B 局所反応(発赤腫脹等)	71		4	8	5	2	45	7	
6C その他	75	2	24	15	6		18	8	2
7 基準外報告	93	1	13	6	3	4	48	17	1
7A 全身反応(発熱等)	30		12	4	1	3	4	5	1
7B その他	63	1	1	2	2	1	44	12	

男

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	15歳以上
総 数	202		50	35	26	14	49	24	4
1 即時性全身反応	55		9	13	14	10	4	5	
1A アナフィラキシー	17		3	5	2	6	1		
1B 全身痺麻疹	38		6	8	12	4	3	5	
2 脳炎、脳症									
3 けいれん	7		3	2	1			1	
4 運動障害									
5 その他の神経障害	1							1	
6 その他の異常反応	92		28	17	8	2	24	10	3
6A 発疹	36		14	9	5	2	2	3	1
6B 局所反応(発赤腫脹等)	21		1	1			16	3	
6C その他	35		13	7	3		6	4	2
7 基準外報告	47		10	3	3	2	21	7	1
7A 全身反応(発熱等)	22		10	2	1	2	4	2	1
7B その他	23				1		17	5	

女

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	15歳以上
総 数	260	5	46	48	24	10	92	35	
1 即時性全身反応	71	1	14	17	9	3	17	10	
1A アナフィラキシー	34		5	9	5	1	7	7	
1B 全身痺麻疹	37	1	9	8	4	2	10	3	
2 脳炎、脳症	1		1						
3 けいれん	4		2	2					
4 運動障害	1						1		
5 その他の神経障害	8			1	2			5	
6 その他の異常反応	129	3	26	25	13	5	47	10	
6A 発疹	39	1	12	10	5	3	6	2	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	50		3	7	5	2	29	4	
6C その他	40	2	11	8	3		12	4	
7 基準外報告	46	1	3	3		2	27	10	
7A 全身反応(発熱等)	8		2	2		1		3	
7B その他	38	1	1	1		1	27	7	

第6-3表  
風しん  
総数

予後別(回復している・回復していない別)

	総数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	126	38			30	2	24	32
1A アナフィラキシー	51	16			16	2	7	10
1B 全身蕁麻疹	75	22			14		17	22
2 脳炎、脳症	11			1				
3 けいれん	11				5		3	3
4 運動障害	1	1						
5 その他の神経障害	9				3	1	1	4
6 その他の異常反応	221	26			44	3	34	114
6A 発疹	75	17			5	2	17	34
6B 局所反応(発赤腫脹等)	71	5					11	55
6C その他	75	4			39	1	6	25
7 基準外報告	93	15			11		19	48
7A 全身反応(発熱等)	30	6			9		6	9
7B その他	63	9			2		13	39

回復している

	総数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	113	37			28	2	20	26
1A アナフィラキシー	47	16			15	2	6	8
1B 全身蕁麻疹	66	21			13		14	18
2 脳炎、脳症	1			1				
3 けいれん	8				3		3	2
4 運動障害	1	1						
5 その他の神経障害	2				2			
6 その他の異常反応	139	26			31		20	62
6A 発疹	55	17			4		11	23
6B 局所反応(発赤腫脹等)	41	5					7	29
6C その他	43	4			27		2	10
7 基準外報告	69	15			7		15	32
7A 全身反応(発熱等)	20	6			5		4	5
7B その他	49	9			2		11	27

回復していない

	総数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	4				16	4	19	17
1A アナフィラキシー	2						3	1
1B 全身蕁麻疹	2						1	1
2 脳炎、脳症							2	
3 けいれん	1			1				
4 運動障害								
5 その他の神経障害	6				1	1	1	3
6 その他の異常反応	35				11	3	11	10
6A 発疹	14				1	2	5	6
6B 局所反応(発赤腫脹等)	5						2	3
6C その他	16				10	1	4	1
7 基準外報告	10				3		4	3
7A 全身反応(発熱等)	7				3		2	2
7B その他	3						2	1

(注) 回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第7-1表  
M R  
日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
総 数	528	160	82	84	156	31	15
1 即時性全身反応	74	64	7	1	1		1
1A アナフィラキシー	39	38					1
1B 全身蕁麻疹	35	26	7	1	1		
2 脳炎、脳症	18	1		3	7	3	4
3 けいれん	38	13	5	4	15	1	
4 運動障害	2			1	1		
5 その他の神経障害	14	2	3	1	6	2	
6 その他の異常反応	222	48	37	38	70	21	8
6A 発疹	128	20	23	30	51	4	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	21	7	8	3	2	1	
6C その他	73	21	6	5	17	16	8
7 基準外報告	160	32	30	36	56	4	2
7A 全身反応(発熱等)	137	26	27	30	50	3	1
7B その他	23	6	3	6	6	1	1

第7-2表  
M R  
年齢別(男女別)

総 数

	総 数	1歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 即時性全身反応	74	16	20	9	29
1A アナフィラキシー	39	2	9	6	22
1B 全身蕁麻疹	35	14	11	3	7
2 脳炎、脳症	18	11	4	1	2
3 けいれん	38	29		2	7
4 運動障害	2	2			
5 その他の神経障害	13	4	2	4	3
6 その他の異常反応	221	136	22	19	44
6A 発疹	128	93	10	5	20
6B 局所反応(発赤腫脹等)	21	6	5	4	6
6C その他	72	37	7	10	18
7 基準外報告	160	119	8	14	19
7A 全身反応(発熱等)	137	107	7	9	14
7B その他	23	12	1	5	5

男

	総 数	1歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 即時性全身反応	41	11	5	4	21
1A アナフィラキシー	19	1	2	1	15
1B 全身蕁麻疹	22	10	3	3	6
2 脳炎、脳症	9	5	2	1	1
3 けいれん	21	15		1	5
4 運動障害	2	2			
5 その他の神経障害	3		1	1	1
6 その他の異常反応	109	64	18	8	19
6A 発疹	60	42	8	3	7
6B 局所反応(発赤腫脹等)	12	3	4	2	3
6C その他	37	19	6	3	9
7 基準外報告	82	56	6	8	12
7A 全身反応(発熱等)	72	50	6	6	10
7B その他	10	6		2	2

女

	総 数	1歳	6歳	12~13歳	17~18歳
1 即時性全身反応	33	5	15	5	8
1A アナフィラキシー	20	1	7	5	7
1B 全身蕁麻疹	13	4	8		1
2 脳炎、脳症	9	6	2		1
3 けいれん	17	14		1	2
4 運動障害					
5 その他の神経障害	10	4	1	3	2
6 その他の異常反応	112	72	4	11	25
6A 発疹	68	51	2	2	13
6B 局所反応(発赤腫脹等)	9	3	1	2	3
6C その他	35	18	1	7	9
7 基準外報告	78	63	2	6	7
7A 全身反応(発熱等)	65	57	1	3	4
7B その他	13	6	1	3	3

第7-3表

M R  
総数

予後別（回復している・回復していない別）

	総数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	74	18	1	1	9	21	25	
1A アナフィラキシー	39	10		1	7	8	13	
1B 全身蕁麻疹	35	8			2	13	12	
2 脳炎、脳症	19		1		17	1		
3 けいれん	38	5			17	8	8	
4 運動障害	2				2			
5 その他の神経障害	14				6	3	5	
6 その他の異常反応	222	42			64	47	69	
6A 発疹	128	28			22	36	42	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	21	2			2	2	15	
6C その他	73	12			40	9	12	
7 基準外報告	160	32			29	45	54	
7A 全身反応(発熱等)	137	28			23	40	46	
7B その他	23	4			6	5	8	

回復している

	総数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	59	17		1	8	16	17	
1A アナフィラキシー	36	10		1	6	7	12	
1B 全身蕁麻疹	23	7			2	9	5	
2 脳炎、脳症	9				9			
3 けいれん	30	5			13	6	6	
4 運動障害	1				1			
5 その他の神経障害	6				2	3	1	
6 その他の異常反応	152	42			43	41	26	
6A 発疹	96	28			19	33	16	
6B 局所反応(発赤腫脹等)	9	2			1	1	5	
6C その他	47	12			23	7	5	
7 基準外報告	112	32			18	38	24	
7A 全身反応(発熱等)	96	28			14	35	19	
7B その他	16	4			4	3	5	

回復していない

	総数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	4	1	1			2		1
1A アナフィラキシー								
1B 全身蕁麻疹	4	1					2	1
2 脳炎、脳症	9		1		7	1		
3 けいれん	2				2			
4 運動障害	1				1			
5 その他の神経障害	5				3			2
6 その他の異常反応	24				13	4	7	
6A 発疹	8				1	1		6
6B 局所反応(発赤腫脹等)	1						1	
6C その他	15				12	2	1	
7 基準外報告	11				3	4	4	
7A 全身反応(発熱等)	9				3	3	3	
7B その他	2						1	1

(注) 回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第8-1表  
日本脳炎

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
1 即時性全身反応	281	246	33	1	1		
1A アナフィラキシー	129	126	3				
1B 全身蕁麻疹	152	120	30	1	1		
2 脳炎、脳症	54	3	9	17	8	13	4
3 けいれん	84	52	15	10	6	1	
4 運動障害	8	4				3	1
5 その他の神経障害	45	21	6	6	10	1	1
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	15	12	3				
7 全身の発疹	76	46	28		1		1
8 39°C以上の発熱	376	270	96	6	4		
9 その他の異常反応	99	82	10	2	1	2	2
10 基準外報告	295	223	54	9	3	6	
10A 局所反応(発赤腫脹等)	98	75	20	1	1	1	
10B 全身反応(発熱等)	121	96	17	4		4	
10C その他	76	52	17	4	2	1	

第8-2表  
日本脳炎  
総 数

年齢別(男女別)

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	1333	10	12	19	503	228	341	220
1 即時性全身反応	281	3	5	2	85	56	75	55
1A アナフィラキシー	129	1	2	1	26	23	36	40
1B 全身痺麻疹	152	2	3	1	59	33	39	15
2 脳炎、脳症	53				13	8	19	13
3 けいれん	84	1	1	1	38	11	18	14
4 運動障害	8		1	1			2	4
5 その他の神経障害	45	1		1	13	2	11	17
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	15				6	3	4	2
7 全身の発疹	76	1		2	32	9	21	11
8 39℃以上の発熱	375	3	2	5	204	75	78	8
9 その他の異常反応	99			1	19	14	33	32
10 基準外報告	295	1	3	6	93	49	80	63
10A 局所反応(発赤腫脹等)	98	1	2	3	30	14	24	24
10B 全身反応(発熱等)	121		1	3	43	27	31	16
10C その他	76				20	8	25	23

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	640	4	5	4	245	119	164	99
1 即時性全身反応	135	2			44	27	35	27
1A アナフィラキシー	56				11	9	15	21
1B 全身痺麻疹	79	2			33	18	20	6
2 脳炎、脳症	30				6	7	11	6
3 けいれん	43		1	1	19	5	9	8
4 運動障害	4		1				2	1
5 その他の神経障害	16	1			4		6	5
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	4				3	1		
7 全身の発疹	39			1	17	5	11	5
8 39℃以上の発熱	186	1	1	1	101	42	34	6
9 その他の異常反応	44				8	8	14	14
10 基準外報告	138		2	1	43	24	42	26
10A 局所反応(発赤腫脹等)	42		1		11	8	14	8
10B 全身反応(発熱等)	64		1	1	23	12	17	10
10C その他	29				9	1	11	8

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総 数	693	6	7	15	258	109	177	121
1 即時性全身反応	146	1	5	2	41	29	40	28
1A アナフィラキシー	73	1	2	1	15	14	21	19
1B 全身痺麻疹	73		3	1	26	15	19	9
2 脳炎、脳症	23				7	1	8	7
3 けいれん	41	1			19	6	9	6
4 運動障害	4			1				3
5 その他の神経障害	29			1	9	2	5	12
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	11				3	2	4	2
7 全身の発疹	37	1		1	15	4	10	6
8 39℃以上の発熱	189	2	1	4	103	33	44	2
9 その他の異常反応	55			1	11	6	19	18
10 基準外報告	157	1	1	5	50	25	38	37
10A 局所反応(発赤腫脹等)	56	1	1	3	19	6	10	16
10B 全身反応(発熱等)	57			2	20	15	14	6
10C その他	43				11	3	14	15

第8-3表

日本脳炎  
総 数

予後別(回復している・回復していない別)

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	280	85		1	43	1	87	63
1A アナフィラキシー	129	35			28		34	32
1B 全身尋麻疹	151	50		1	15	1	53	31
2 脳炎、脳症	54		3	4	37	6	1	3
3 けいれん	84	13	1		35	2	19	14
4 運動障害	8				4	1	1	2
5 その他の神経障害	45	5		1	17	1	5	16
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	16	4					3	9
7 全身の発疹	76	15			8		21	32
8 39℃以上の発熱	376	95			29	4	81	167
9 その他の異常反応	99	35	1	1	12	1	25	24
10 基準外報告	295	58	1		26	2	77	131
10A 局所反応(発赤腫脹等)	98	19			4		23	52
10B 全身反応(発熱等)	121	22			14	1	33	51
10C その他	76	17	1		8	1	21	28

## 回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	241	84		1	36		71	49
1A アナフィラキシー	116	35			24		30	27
1B 全身尋麻疹	125	49		1	12		41	22
2 脳炎、脳症	13				13			
3 けいれん	66	13			29		14	10
4 運動障害	2				2			
5 その他の神経障害	30	5		1	14		4	6
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	12	4					2	6
7 全身の発疹	51	14			4		14	19
8 39℃以上の発熱	297	92			20	2	67	116
9 その他の異常反応	83	35		1	8		20	19
10 基準外報告	218	57			21	1	57	82
10A 局所反応(発赤腫脹等)	70	18			4		15	33
10B 全身反応(発熱等)	89	22			11	1	26	29
10C その他	59	17			6		16	20

## 回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
1 即時性全身反応	27				4		16	7
1A アナフィラキシー	6				3		2	1
1B 全身尋麻疹	21				11		14	6
2 脳炎、脳症	32		3	4	17	5		3
3 けいれん	7		1		2	1	1	2
4 運動障害	4				1	1	1	1
5 その他の神経障害	11				3	1	1	6
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	1						1	
7 全身の発疹	19	1			4		5	9
8 39℃以上の発熱	36	1			4	2	10	19
9 その他の異常反応	13		1		3	1	4	4
10 基準外報告	37		1		5	1	12	18
10A 局所反応(発赤腫脹等)	19						7	12
10B 全身反応(発熱等)	10				3		2	5
10C その他	8		1		2	1	3	1

(注) 回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第9-1表  
生 ポ リ オ

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
総 数	249	110	59	28	14	31	7
1 急性灰白髄炎(麻痺)	41	1	4	5	7	21	3
1A 免疫不全のない者	40	1	3	5	7	21	3
1B 免疫不全のある者							
1C ワクチン服用者との接触者	1		1				
2 その他の異常反応	68	38	11	10	5	3	1
3 基準外報告(全身反応)	140	71	44	13	2	7	3

第9-2表  
生ポリオ  
年齢別(男女別)

総数

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総数	249	133	88	13	7	3	3	2
1 急性灰白髄炎(麻痺)	41	17	17	3	2		1	1
1A 免疫不全のない者	40	17	17	3	2		1	
1B 免疫不全のある者								
1C ワクチン服用者との接触者	1							1
2 その他の異常反応	68	40	21	6				1
3 基準外報告(全身反応)	140	76	50	4	5	3	2	

男

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総数	147	81	52	6	3	1	3	1
1 急性灰白髄炎(麻痺)	31	15	11	1	2		1	1
1A 免疫不全のない者	30	15	11	1	2		1	
1B 免疫不全のある者								
1C ワクチン服用者との接触者	1							1
2 その他の異常反応	43	28	12	3				
3 基準外報告(全身反応)	73	38	29	2	1	1	2	

女

	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳
総数	102	52	36	7	4	2		1
1 急性灰白髄炎(麻痺)	10	2	6	2				
1A 免疫不全のない者	10	2	6	2				
1B 免疫不全のある者								
1C ワクチン服用者との接触者								
2 その他の異常反応	25	12	9	3				1
3 基準外報告(全身反応)	67	38	21	2	4	2		

第9-3表  
生 ポ リ オ  
総 数

予後別(回復している・回復していない別)

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	249	55	12		43	19	49	71
1 急性灰白髄炎(麻痺)	41	1			16	12	4	8
1A 免疫不全のない者	40	1			16	12	3	8
1B 免疫不全のある者								
1C ワクチン服用者との接触者	1						1	
2 その他の異常反応	68	15	1		12	2	15	23
3 基準外報告(全身反応)	140	39	11		15	5	30	40

回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	147	54			21	1	36	35
1 急性灰白髄炎(麻痺)	13	1			5	1	3	3
1A 免疫不全のない者	13	1			5	1	3	3
1B 免疫不全のある者								
1C ワクチン服用者との接触者								
2 その他の異常反応	46	15			7		8	16
3 基準外報告(全身反応)	88	38			9		25	16

回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	70	1	11		21	18	7	12
1 急性灰白髄炎(麻痺)	26				11	11	1	3
1A 免疫不全のない者	25				11	11		3
1B 免疫不全のある者								
1C ワクチン服用者との接触者	1						1	
2 その他の異常反応	15		1		5	2	4	3
3 基準外報告(全身反応)	26	1	10		5	5	2	3

(注) 回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第10-1表

B C G

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~1ヶ月	~2ヶ月	~3ヶ月	~4ヶ月	~5ヶ月	~6ヶ月	6ヶ月~
1 総 数	1737	106	39	42	250	730	251	109	40	28	142
1 腋窩リンパ節腫脹(1cm以上)	941	3	10	2	142	485	176	61	22	13	27
2 接種局所の膿瘍	173	2	5	7	35	54	26	17	5	4	18
3 肺炎、骨髓炎	43			1	1	4				2	37
4 皮膚結核	216	5	6	1	33	133	17	11	3	4	3
5 全身性播種性BCG感染症	11				1	2	1	4			3
6 その他の異常反応	233	31	4	31	26	35	28	13	9	5	51
6A 腋窩以外のリンパ節腫脹	74				11	25	20	5	5	1	7
6B 急性の局所反応	32	16	3	2	5	3	1	2			
6C その他	127	15	1	29	10	7	7	6	4	4	44
7 基準外報告	118	65	14		12	17	3	3	1		3
7A 局所反応(基準以外の反応)	33	13	4		7	2	2	2	1		2
7B 全身反応(発熱等)	63	39	8		5	10	1				
7C その他	21	12	2			5		1			1

第10-2表

B C G

年齢別(男女別)

総 数

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	15歳以上
総 数	1738	1178	287	46	14	4	103	101	5
1 腹窓リンパ節腫脹(1cm以上)	941	722	178	20	4	1	12	3	1
2 接種局所の膿瘍	173	88	23	7	1		39	14	1
3 骨炎、骨髓炎	45		32	7	4	1	1		
4 皮膚結核	216	198	14	1	1		2		
5 全身性播種性BCG感染症	11		4	3	2	1	1		
6 その他の異常反応	233	81	27	5	2		41	74	3
6A 腹窓以外のリンパ節腫脹	74	44	25	3	1				1
6B 急性の局所反応	32	16					11	5	
6C その他	127	21	2	2	1		30	69	2
7 基準外報告	119	85	10	4	1	2	7	10	
7A 局所反応(基準以外の反応)	33	17	4	1		1	3	7	
7B 全身反応(発熱等)	63	47	4	3	1	1	4	3	
7C その他	23	21	2						

男

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	15歳以上
総 数	1054	727	184	25	8	1	60	46	3
1 腹窓リンパ節腫脹(1cm以上)	597	465	109	10	3		8	1	1
2 接種局所の膿瘍	101	51	15	4			23	7	1
3 骨炎、骨髓炎	29		24	3	2				
4 皮膚結核	110	99	8		1		2		
5 全身性播種性BCG感染症	10	4	3	2	1				
6 その他の異常反応	135	56	17	4	1		24	32	1
6A 腹窓以外のリンパ節腫脹	53	34	16	2					1
6B 急性の局所反応	18	10					7	1	
6C その他	64	12	1	2	1		17	31	
7 基準外報告	72	52	8	2		1	3	6	
7A 局所反応(基準以外の反応)	18	8	3			1	1	5	
7B 全身反応(発熱等)	39	30	4	2			2	1	
7C その他	11	10	1						

女

	総 数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~15歳	15歳以上
総 数	684	451	103	21	6	3	43	55	2
1 腹窓リンパ節腫脹(1cm以上)	344	257	69	10	1	1	4	2	
2 接種局所の膿瘍	72	37	8	3	1		16	7	
3 骨炎、骨髓炎	16		8	4	2	1	1		
4 皮膚結核	106	99	6	1					
5 全身性播種性BCG感染症	1						1		
6 その他の異常反応	98	25	10	1	1		17	42	2
6A 腹窓以外のリンパ節腫脹	21	10	9	1	1				
6B 急性の局所反応	14	6					4	4	
6C その他	63	9	1				13	38	2
7 基準外報告	47	33	2	2	1	1	4	4	
7A 局所反応(基準以外の反応)	15	9	1	1			2	2	
7B 全身反応(発熱等)	24	17		1	1	1	2	2	
7C その他	8	7	1						

第10-3表

B C G

総 数

予後別(回復している・回復していない別)

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	1740	142	4	2	204	43	589	756
1 腋窩リンパ節腫脹(1cm以上)	941	82		1	85	10	311	452
2 接種局所の腫瘍	173	18			8	8	59	80
3 骨炎、骨髓炎	47				37	3	2	5
4 皮膚結核	216	15			24	2	111	64
5 全身性播種性BCG感染症	11		1	1	7			2
6 その他の異常反応	243	11	1		24	20	76	101
6A 腋窩以外のリンパ節腫脹	74	4			17	2	28	23
6B 急性の局所反応	32	5			1	1	11	14
6C その他	137	2	1		6	17	37	64
7 基準外報告	109	16	2		19		30	52
7A 局所反応(基準以外の反応)	33	2			1		12	18
7B 全身反応(発熱等)	63	11			12		14	26
7C その他	12	3	2		6		3	8

回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	661	142			104	8	223	184
1 腋窩リンパ節腫脹(1cm以上)	320	82			44	3	102	89
2 接種局所の腫瘍	67	18			4	2	24	19
3 骨炎、骨髓炎	15				14		1	
4 皮膚結核	107	15			14		56	22
5 全身性播種性BCG感染症	2				2			
6 その他の異常反応	75	11			12	3	19	21
6A 腋窩以外のリンパ節腫脹	26	4			8	1	7	6
6B 急性の局所反応	23	5			1		8	9
6C その他	26	2			3	2	4	6
7 基準外報告	75	16			14		21	33
7A 局所反応(基準以外の反応)	20	2					7	11
7B 全身反応(発熱等)	50	11			9		11	19
7C その他	5	3			5		3	3

回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	716		3	2	88	35	280	308
1 腋窩リンパ節腫脹(1cm以上)	386			1	37	7	156	185
2 接種局所の腫瘍	75				4	6	26	39
3 骨炎、骨髓炎	22				18	3	1	
4 皮膚結核	66				10	3	42	11
5 全身性播種性BCG感染症	6			1	4			1
6 その他の異常反応	140		1		11	16	48	64
6A 腋窩以外のリンパ節腫脹	41				9	1	18	13
6B 急性の局所反応	6					1	2	3
6C その他	93		1		2	14	28	48
7 基準外報告	21		2		4		7	8
7A 局所反応(基準以外の反応)	8				1		4	3
7B 全身反応(発熱等)	8				2		2	4
7C その他	5		2		1		1	1

(注)回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

第11-1表  
インフルエンザ

日数別

	総 数	24H以内	1~3日	4~7日	8~14日	15~28日	29日~
総 数	565	308	178	47	17	10	5
1 即時性全身反応	63	57	6				
1A アナフィラキシー	13	12	1				
1B 全身蕁麻疹	50	45	5				
2 脳炎、脳症	10	3	4	2		1	
3 けいれん	9	6	3				
4 運動障害	5		1		1	2	1
5 その他の神経障害	32	12	8	5	3	3	1
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	19	9	10				
7 全身の発疹	73	35	32	6			
8 39℃以上の発熱	69	31	32	4		1	1
9 その他の異常反応	88	64	17	4	3		
10 基準外報告	197	91	65	26	10	3	2
10A 局所反応(発赤腫脹等)	38	21	13	4			
10B 全身反応(発熱等)	51	19	23	6	3		
10C その他	108	51	29	16	7	3	2

(注) インフルエンザは平成13年11月7日より予防接種法の対象疾病になったため、平成13年11月7日～平成25年3月31日の数字である。

第11-2表

## インフルエンザ

## 年齢別(男女別)

総 数

	総 数	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~90歳	90歳以上
1 即時性全身反応	63	3	21	13	14	7	4	1
1A アナフィラキシー	13		4	3	2	3		1
1B 全身蕁麻疹	50	3	17	10	12	4	4	
2 脳炎、脳症	10	1	1	4	2	1	1	
3 けいれん	9			3	2	2	1	1
4 運動障害	5			2	2		1	
5 その他の神経障害	32			8	10	2	2	
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	19	5	3	6	4		1	
7 全身の発疹	73	1	17	26	10	13	3	3
8 39℃以上の発熱	69	5	12	11	13	12	10	6
9 その他の異常反応	88	3	21	13	21	13	9	8
10 基準外報告	197	3	50	45	40	36	9	14
10A 局所反応(発赤腫脹等)	38		7	13	14	3	1	
10B 全身反応(発熱等)	51			16	14	7	3	3
10C その他	108	3	27	18	19	25	5	11

男

	総 数	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~90歳	90歳以上
1 即時性全身反応	25			7	8	4	4	2
1A アナフィラキシー	9			2	4	1	2	
1B 全身蕁麻疹	16			5	4	3	2	2
2 脳炎、脳症	6	1	1	4				
3 けいれん	4					2	2	
4 運動障害								
5 その他の神経障害	17			1	6	7	2	1
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	6	3	1	1	1			
7 全身の発疹	16			1	8	3	3	1
8 39℃以上の発熱	35	4	6	6	9	5	3	2
9 その他の異常反応	32			8	4	12	5	2
10 基準外報告	73	2	20	14	15	14	2	6
10A 局所反応(発赤腫脹等)	5		2	1	2			
10B 全身反応(発熱等)	19			6	5	3	4	1
10C その他	49	2	12	8	10	10	2	5

女

	総 数	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~90歳	90歳以上
1 即時性全身反応	37	3	14	4	10	3	2	1
1A アナフィラキシー	5		2		1	1		1
1B 全身蕁麻疹	32	3	12	4	9	2	2	
2 脳炎、脳症	4				2	1	1	
3 けいれん	5			3			1	1
4 運動障害	5		2	2		1		
5 その他の神経障害	14		7	3	3		1	
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	13	2	2	5	3		1	
7 全身の発疹	57	1	17	17	7	10	2	3
8 39℃以上の発熱	34	1	6	5	4	7	7	4
9 その他の異常反応	56	3	13	9	9	8	7	7
10 基準外報告	124	1	30	31	25	22	7	8
10A 局所反応(発赤腫脹等)	33		5	12	12	3	1	
10B 全身反応(発熱等)	32		10	9	4	4	3	2
10C その他	58	1	15	10	9	15	2	6

(注) インフルエンザは平成13年11月7日より予防接種法の対象疾病になったため、平成13年11月7日～平成25年3月31日の数字である。

第11-3表

## インフルエンザ

## 予後別（回復している・回復していない別）

総 数

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	564	73	31	21	90	11	139	199
1 即時性全身反応	63	12		1	7	1	17	25
1A アナフィラキシー	13	1		1	4		3	4
1B 全身蕁麻疹	50	11			3	1	14	21
2 脳炎、脳症	10	1	2		7			
3 けいれん	9	1			3	1	1	3
4 運動障害	5				1		1	3
5 その他の神経障害	32	1		2	14	2	7	6
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	19	1			1		5	12
7 全身の発疹	73	8		3	5		23	34
8 39°C以上の発熱	68	12	1	1	17	1	15	21
9 その他の異常反応	88	7	9	7	15		19	31
10 基準外報告	197	30	19	7	20	6	51	64
10A 局所反応(発赤腫脹等)	38	7			1	1	16	13
10B 全身反応(発熱等)	51	7	2		9	1	11	21
10C その他	108	16	17	7	10	4	24	30

## 回復している

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	330	72	1	9	56	1	88	103
1 即時性全身反応	45	11		1	6		12	15
1A アナフィラキシー	12	1		1	4		2	4
1B 全身蕁麻疹	33	10			2		10	11
2 脳炎、脳症	3	1			2			
3 けいれん	6	1			2		1	2
4 運動障害	2						1	1
5 その他の神経障害	18	1			6	1	5	5
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	10	1			1		1	7
7 全身の発疹	42	8		2	4		15	13
8 39°C以上の発熱	48	12			13		11	12
9 その他の異常反応	57	7		4	10		13	23
10 基準外報告	99	30	1	2	12		29	25
10A 局所反応(発赤腫脹等)	21	7			1		10	3
10B 全身反応(発熱等)	23	7			5		6	5
10C その他	55	16	1	2	6		13	17

## 回復していない

	総 数	治癒	死亡	重篤	入院	後遺症	その他	記入無
総 数	121		17	5	21	8	33	37
1 即時性全身反応	7					1	3	3
1A アナフィラキシー								
1B 全身蕁麻疹	7					1	3	3
2 脳炎、脳症	3		1		2			
3 けいれん	1					1		
4 運動障害	2				1			1
5 その他の神経障害	8				6		2	
6 局所の異常腫脹(肘を越える)	5						3	2
7 全身の発疹	13			1	1		4	7
8 39°C以上の発熱	9		1	1	1	1	3	2
9 その他の異常反応	17		7	1	4		3	2
10 基準外報告	56		8	2	6	5	15	20
10A 局所反応(発赤腫脹等)	10					1	3	6
10B 全身反応(発熱等)	16				3		4	9
10C その他	28		6	2	3	4	8	5

(注) 回復していると回復していないの合計が総数と合わないのは、不明の分である。

インフルエンザは平成13年11月7日より予防接種法の対象疾患になったため、平成13年11月7日～平成25年3月31日の数字である。